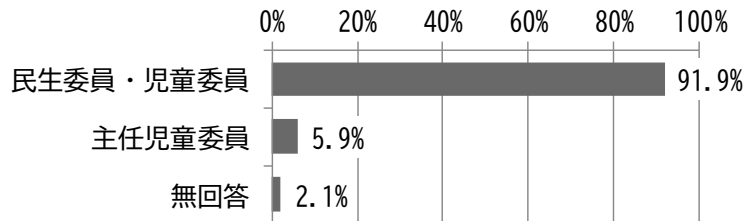


4 民生委員・児童委員、主任児童委員

問1 はじめに委嘱区分を伺います。(該当に○)

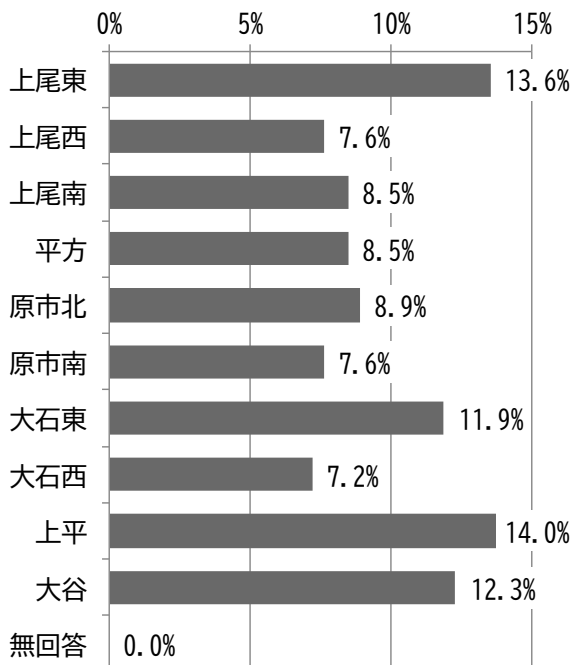
委嘱区分については、「民生委員・児童委員」が 91.9%と最も多く、次いで「主任児童委員」が 5.9%、「」が 0.0%となっています。



項目	度数	比率
民生委員・児童委員	217	91.9%
主任児童委員	14	5.9%
無回答	5	2.1%
合計	236	100.0%

問2 あなたが民生委員・児童委員（または主任児童委員）として担当している地区は次のうちどこに含まれますか。(該当に○)

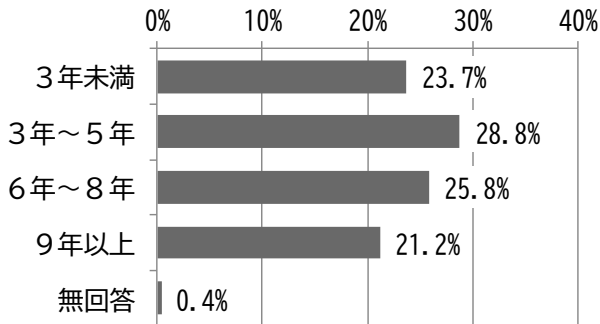
民生委員・児童委員（または主任児童委員）として担当している地区については、「上平」が 14.0%と最も多く、次いで「上尾東」が 13.6%、「大谷」が 12.3%となっています。



項目	度数	比率
上尾東	32	13.6%
上尾西	18	7.6%
上尾南	20	8.5%
平方	20	8.5%
原市北	21	8.9%
原市南	18	7.6%
大石東	28	11.9%
大石西	17	7.2%
上平	33	14.0%
大谷	29	12.3%
無回答	0	0.0%
合計	236	100%

問3 あなたの民生委員・児童委員（または主任児童委員）としての在任・経験年数はどれくらいですか。（該当にひとつ〇）※通算またはどちらも経験されている場合は合算

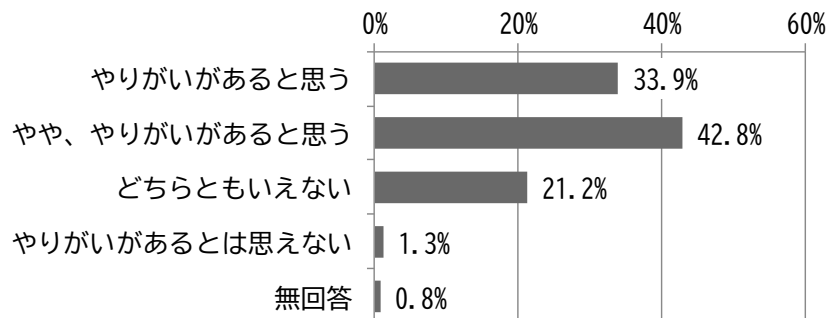
民生委員・児童委員（または主任児童委員）としての在任・経験年数については、「3年～5年」が28.8%と最も多く、次いで「6年～8年」が25.8%、「3年未満」が23.7%となっています。



項目	度数	比率
3年未満	56	23.7%
3年～5年	68	28.8%
6年～8年	61	25.8%
9年以上	50	21.2%
無回答	1	0.4%
合計	236	100.0%

**問4 あなたは民生委員・児童委員（または主任児童委員）の活動のやりがいについてどう思いますか。（該当にひとつ〇）
また、どのようなときにやりがいを感じますか。（具体的にご記入ください）**

民生委員・児童委員（または主任児童委員）の活動のやりがいについては、「やりがいがあると思う」「やや、やりがいがあると思う」を合わせた『やりがいがあると思う』が76.7%となっています。一方、「やりがいがあるとは思えない」は、1.3%となっています。



項目	度数	比率
やりがいがあると思う	80	33.9%
やや、やりがいがあると思う	101	42.8%
どちらともいえない	50	21.2%
やりがいがあるとは思えない	3	1.3%
無回答	2	0.8%
合計	236	100.0%

【やりがいを感じる時】

- 相談されたことをどこかへつなぐことができ良い方向へと行ったこと。
- 訪問してお礼を言われたり、感謝されるとやりがいを感じます。
- 地域貢献に役立っていると思うとき。(特に高齢者との対応で自分と置きかえて何がよい方向か考える機会を与えられた)
- 訪問活動を通じて、顔見知りとなりコミュニケーションがとれるようになった。
- 支援をした方から有難がられる(感謝される)。知人が増えました。
- 人の輪が大きくなった。
- 配布物や調査で訪問した時、元気に過ごされているのを確認した時や、笑顔で会話したり「いつも有難う」と言われた時。
- 訪問するうちに家庭状況を教えてくれる。民生委員だから個人情報を言ってくれる。有難いと思うし信頼関係があるから言ってくれるのだろう。話を聞くのも私の仕事とその時、感じる。
- 知らない人と知り合いになる事
- 訪問したところ、郵便受けに新聞が3日分入っていた。きちんとした方だったので家の周りを見たが、カーテンが下りていて家の中が見えなかった。他市にいる娘さんに連絡。結局、亡くなっていた。民生委員からの連絡という事で娘さんも警察からの調べに対して穏やかに済んだそうです。少しは役だったかと思えます。
- 見守り対象の方から感謝の言葉を頂ける。大変なケースが解決した時。相談にのって良い方向に進んでいる時。
- たまに直接あるいは電話でお礼の言葉を言われる事があります。また、訪問した時、安心してしばらく話をして下さる事もあります。
- 地域の方の悩みや相談にこたえ、役に立てたと感じた時。やりがいを感じました。
- 先輩たちとの対話が楽しめる。
- たくさんの方々とお話が出来る事は、それだけで社会学習になります。特に感じるのは人と人の繋がり大切さを実感できる事だと思えます。人は一人では生きていけない事を包括支援センターの職員の方、ケアマネの方々と協力しながら学ぶことが出来ます。改めて「自己責任論」の誤りを再認識しています。
- 担当の方とおしゃべりが弾んだり、笑顔で感謝されたりした時、意思疎通が出来たと思われた時。
- 民生委員になった途端、色々やる事があり、年々、高齢者が増えていく事は間違いないと思うので、更に負担が増えると思う。自分も年々、歳を取っていくので更に大変な負担になると思う。
- 単身高齢者の方で、入院・退院の時、身内の方が遠方にお住まいだったりすると具体的に支援が必要になったりします。
- 様々な方達と知り合いになれること。様々な機関の方達と出会えること。福祉について知識を得られること。感謝されること。
- 相談(生活・健康等)を受けた時、市の窓口や包括支援センター等と本人が納得して暮らしていく事が出来る様にした事。自分が役に立てたかなと思えました。
- 定例会や連絡会で自分の学びが深まる事。子育てサロン、出張子育てサロンに参加された親子さんの笑顔が励みになる事。
- 困っている人の手助けができる。徹底した掃除、片付け上手な人との出会いはとても参考になった。月1回の訪問を心待ちにされていて嬉しかった。会う度に会話が弾んでいった。
- 引き受けた当初はそっけない方々やインターホン越しの方が、年数が経ってくるとこやかに対応してくれたり、労いの言葉をかけてくれたり、相談事をしてくる様になった時。
- 配りものを持ったり、調査などで伺った時に嫌な顔をされる事は無く、有難く思われているのを感じるし、立ち話だが、ご自身の事などを話して下さり温かく迎えて下さった時など。話し相手として感じさせられる。
- 高齢者の見守りで人助けになっているのかな? 具合の悪い人を早く見つける事が出来る。迷い人に声をかけ、警察に保護してもらえた。率先して声掛けが出来る。
- 色々な人がいるなかで民生委員を必要とってくれる人とお話しできた時。
- 地域の方との挨拶が普通に出来るようになった。会社員時代が長く近所との付き合いも少なく周りが見えていなかった。民生委員スタート時はやはり反応が少なく厳しかったが、3年目にはお互い挨拶が出来る状況となった。見守りが必要と感じる様になる。

- 地域の方と仲良くなり、声をかけられる事が多くなった。支援した時に感謝される。
- 地区の人から感謝されている事
- 相談者の悩みに少しでも役立てた時。(身体が不自由になり介護保険を使って生活を改善できた)サロン等で利用者の笑顔に会えた時。
- 地域の皆様の事を知り、お会いできる、コミュニケーションできる。自分の身につけてきたもので皆さんに楽しんで頂いたり、喜んで頂ける。社会参加する事で、今まで知らなかった様々な地域活動を知りました。
- 問題が解決した時に頂いた笑顔。
- 皆さんより、世話になっているとお礼の言葉や労いの言葉を頂く。自分自身、後期高齢者になり、皆様よりどんな風に齢を重ねるべきか日々勉強になります。また、外回りも多いので歩く時も多く身体が丈夫になりました。
- 訪問する度に喜んで頂ける顔を見るのが楽しみです。
- 担当地域(自宅周辺)の実態が把握できる事。訪問時にお礼を言われたり、頼られている事を感じた時。
- 皆様の笑顔
- ママ達の悩みに一緒に寄り添い、話を聞いたりしてママ達が笑顔になってくれる。学校からの見守り依頼のあったお子さんが良い方向に向かっている報告を受け取ると嬉しい。
- 地域の方々との触れ合いが出来、有難いと思う。
- 伺った時に「ご苦労様」、「お世話になっています」と言われた時。
- 相談を受けた時。
- 訪問した方に感謝された時。
- 困った人とか相談をもちかけられた時に役に立った時
- 色々情報が入る。
- 担当地区の方々、何かあった時には頼りにしてくれる。近隣で救急車等が来た時は連絡してくれる。
- 訪問した時に喜んでくれる。貴方が民生委員になってくれて良かったと言われた時。
- 「元気ですか？」と声をかけてもらうだけでとても安心する、というお声を頂いたり、単身になり心細かった時に民生委員が訪問してくれる様になりとても安心して乗り切れて元気になりました…と様々な声を頂いた時。
- 担当地区の高齢者の方々に「頼りにしている」と言われる時や困っている事を相談されたり、提案して地域交流センターと通して介護認定に繋がった時。
- 相談・困りごと等、関係各所に連絡手続きを行い、諸問題が解決に近づいた等。
- 頼りにしてもらえた時、支援に繋がられた時。
- つなぎ役として感謝された時。色々な事例に突き当たり当事者に解決策を見いだせた時。
- 相談にのれる事
- 地域の方に話しかけたり、お年寄りを見守ったりできる事。地域の方々の役に立てる事。
- 担当している区の中で感謝された時。
- 信頼されている事
- 何回か訪問している間に信頼して頂き、困り事など話して頂ける様になり、包括や社協の方々へ繋がられた時に感じます。
- 地域内の人々を知る事が可能。
- 担当地域の高齢者と知り合いになれること。地区の実像が把握できること。
- 少し認知症の人がいてゴミが捨てられないので、包括支援センターに連絡を取り診察につなげてくれて、ゴミが捨てられる様になった。
- 地域の方々との触れ合いや親しみが増す。皆が健康で安心して暮らせる地域作りに少しでも貢献できればと思います。
- 単身生活者から何かを相談されたり、訪問を心待ちにしている時。あるいは伴侶が不調であったり困り事がある時、相談にのり表情が明るくなっていくのを見た時。
- 近所の人達の相談に応じたり力になれた時。
- 独居の方やご近所に話し相手の居ない方と会話し、相手が話すことを楽しく感じたり、ご自分の事に向き合えて良かったといった思いをこちらに伝えて下さった時など、やって良かったと思います。
- 他人の為に働くこと

- 支援したり管制施設との橋渡しをした時、それなりの成果が表れた時。地域の人達とのつながりや絆が強くなった時。地域の行事に参加したり主催する事によって、地域の人達との交流が広がった事。様々な活動を通して地域や社会に対して少しなりとも貢献できたと感じること。
- 日々の安否確認、見守り活動に対し対象者から感謝の言葉が聞かれる。
- 市役所の担当、社会福祉協議会、包括支援センター等と相談が出来て、対応できる窓口があり、つなぎ役としてやりがいを感じる。
- 地域社会の為になっている。
- 声掛け訪問にて「お話しできてどうもありがとうございます」等の声をかけられ、逆にこちらが励まされ「寒さに向かう所、お互いお健やかに」と話を閉じて、次のお宅へ向かう。そんな時、とてもやりがいを感じます。
- 対象者の方から感謝された時、家族の方から感謝された時、一緒に話をして笑い合ったりした時、包括支援センター等につなげたり困っている事等が解決に向かった時。
- 訪問した時にとっても喜んで下さるとやりがいを感じました。
- 経済的に困っているというお話を聞いていて、歳末助け合い運動を紹介したところ喜ばれた事。
- 地域の人達とのつながりが出来、色々な方との相談事を受け関係機関につなげ支援が出来、喜びを感じた時。
- 今は 65 歳以上でも働いている方が多く、訪問しても留守宅ばかり。また、家に居ても居留守の方も多。春・秋の調査で会えないので TEL しても知らない番号は出ない。あまりやりがいを感じられなかった。
- 対象者の方へ訪問時、出先で声をかけてくれる、感謝してくれる。
- 巡回訪問する事で地域の防犯に役立っていると思います。毎朝の挨拶運動の実施で皆さんを元気づける事を実施しています。
- 地域の方々に少しでも恩返しができると感じる時。行政の方々のお手伝いが出てきていると思う時。一方で、力及ばず思う様な結果が得られない事もあるので、それが 2 に回答した理由です。
- 地域の方の不安が少しでも解消し笑顔になられた時。お役に立てた事の喜び。
- 多少人様の為になっているのかなと思うと同時に自分自身の為になっている。人の為に働ける事は自分にとって嬉しい事である。
- 高齢で一人の方に対して今後の不安を感じている人が多く、その手助けを出来る事がやりがいを感じる事です。
- 一人暮らしの方を訪問した時に「久しぶりに話が来て良かったわ」と喜んでもらった時にやりがいを感じます。
- 一人暮らしの方の対応では、親しみを持って会話する為か、あまり話す事の無い人にとっては長時間になるが、一人でいることの淋しさを考えた時、訪問して良かったと思える。
- 相談事に対応した時の感謝の言葉
- 社会福祉向上に貢献できる。
- 自分より年上の方々に感謝の言葉を言われた時。
- 玄関を開けると笑顔であいさつしてくれて、何気ない話をしたり楽しいひと時です！
- 地域の知り合いが増え、声をかけたりかけられたり、少しずつ会話も増えてきた事。
- 住民の方の相談に適切に応えられて悩みが解決した時。
- 相談を受け、包括支援センター等につなぎ一緒に考えた方が解決した後、笑顔で生活できる様になった時にやりがいを感じた。
- 地域の方達と親しく関われる様になった事。
- 感謝の言葉を言われた時。
- 特に単身高齢者の方達に声かけをした時に近況・体調面・生活面を話され、聞いてもらうだけでも人と関わりとても感謝される事。
- 地域の状況がわかり、人と関わり、人の為に役立っていると思って活動をしています。
- 地域の人達が、どんな人達が居るのか把握できる。暮らしぶりを見る事が出来る。
- 高齢者の話は体験談として、次の世代(児童)への話になる。
- 高齢の方々と仲良くなれたこと。困った時に連絡頂き、手続き等、色々お手伝いして感謝されたこと。
- 地域福祉に関わる事で知識・経験が蓄積されていく事で、地域に役立つ事が出来る。
- 訪問した時、「ご苦労様ですね」とか「ありがとう」と感謝された時に実感します。また、仲間

との交流もつながりを少し強くしました。

- 対象者が訪問を待っていてくれ喜んで下さる。
- 暗い顔で「もう死にたい」と言っていた方が、話を聞いてあげたり、支援に繋がったりする内に笑顔が増えて来て「毎日楽しい」と生き生きしたのを見る時に感じます。
- 家庭訪問時、感謝の言葉を受けた時。
- 「ありがとう」と言われ感謝されている実感がある。時々、野菜・果物・ソフトドリンクを頂き、信頼関係が嬉しい、やって良かったと思う。
- お尋ねした時、本人・家族が「よろしく願います」と言ってくれた時。
- 困り事や心配な事を聞き解決した時。話を聞いて本人から安心した等の言葉を聞いた時。
- 自分の住む地域の高齢者となつたり、支援のお手伝いが出来る事は嬉しい事です。しかし、それをやりがいというのか、私の場合ちょっと違う感じがします。また、市の仕事を担っている部分は負担感があります。
- 地域の方が困って相談に来られて、その結果、解決した時。
- 訪問時に感謝の言葉を頂いた時。
- 訪問に伺い、高齢者の方から「ありがとう」の言葉や気持ちを頂く事がある。
- 話を聞いてくれる人が出来たと喜んで下さる。前の方と違ってマメに訪問してくれる。
- 長く担当していると色々な相談を寄せられる。
- 話を聞いて差し上げて喜んで貰った時。ありがとうと言われた時等。
- 市民の皆様役に立っているという責任感。
- 心配事がある時に相談に来てくれる等。
- 人の役に立っていると感じる時。
- 私は地元で生まれ育ち、家も祖父の代から継いで 150 年以上です。父も退職後、10 年以上民生委員をやっていました。私の場合、訪問する家々の人達が顔なじみで話し相手としてすぐに帰してもらえません。「まだ回る家があるので」と言うとお茶菓子や飲み物を持っていけと寄こします。そんな時、元気で会えた事にやりがいを感じます。
- 訪問を楽しみに待ってくれ色々話をして下さり、ありがとうと感謝される。訪問時、暗かった表情が少しでも明るくなってくれると良かったと思うと同時にやりがいを感じる。
- 介護認定等どうすればいいか例：連絡がある→包括へ紹介へ等
- 地域で少しでも手を差し伸べてあげられる部分もあり、自分もいずれ間近にそういう事になると思う事。また、一緒にサロン等、力を合わせて出来る事等です。
- 多くの事を学び、多くの友人が出来た事が心の財産となりました。
- 相談者を包括や社協につなげ一緒に解決できた時。
- 地域の人々との関わりで関係性が深くなって「ありがとう」と言ってもらえた時。
- 相談を受け、相手に感謝される事。
- 各人と会話が出来、生活の様子が把握できる様になり、訪問を喜んで頂ける様になった時。
- 訪問した際にお元気そうに近況をお話して頂いたり、お届け物をして喜んでもらえたりする事。
- 訪問してお話ができ笑顔になったり「ありがとう」と言われた時。今年も元気に会えた時。
- 話し相手、おしゃべり相手に。
- 見守り活動や調査の時にお礼を言われたり、待って頂いている時など。
- 担当地区の方とのつながりが出来たと感じた時。
- 近隣の高齢者は、自分が幼少期からお世話になった方達ばかりなので、恩返しの思いで活動させたいと思っています。
- 地域の方の役に立っていると感じる時。訪問やサロンの開催を喜んでもらえたとき。
- 独居で健康に不安がある方を定例訪問し感謝された時。サロン活動のイベントで参加した方々が喜んでいられた時。
- 地域の高齢者の少しでも役に立てていると思える時。地域の行事に協力できた時。
- 子育てサロンに参加された親子さんが笑顔で帰って行かれる時。楽しかったですと言ってもらえた時。不登校支援で関わったご家族のお子さんとの関わりの中で登校への一歩が踏み出せた時や母親との話し相手になり気持ちが楽になりましたと言ってもらえた時。後日、お子さんが進学されたとの話を聞いた時など。
- いろいろなイベントを開催したとき、いらしてくださった方が、嬉しそうな顔をした時はやってよかったと思います。
- 見守り対象者の方と信頼関係というか気軽に声かけたり声かけられたりして何気ない世間話が

できるようになった時。

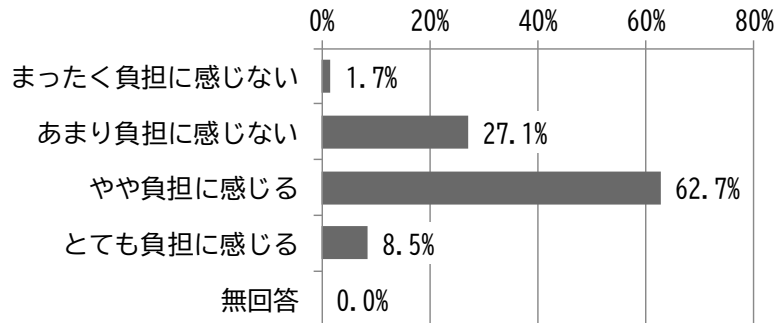
- 1人暮らしの老人が自宅で倒れていたのを近所の人から知らせてくれて救急車を呼ぶ事が出来、助かった事がありました。普段からの活動が役に立っていた事が自覚出来た事例でした。
- 1. 相談者、支援者からの相談事に喜んでもらえた時。2. 相談者、支援者からの相談事に結果でお礼を言われた時。3. 家庭調査（単身、高齢者世帯、その他）が日程通りに消化できた時。
- 訪問活動時『いつもありがとう』と声をかけられた時。「やや」を、選んだのはこの対応の仕方ではないのかなと悩みながら活動しているからです。
- 何かあったらお願いねと活動に感謝されたとき。心配な人が行政サービスにつながったとき。
- やりがいを感じたことはない。
- 必要な支援に繋がって感謝された時。見守り訪問を喜んで貰えた時。
- お母さんたちがホッとしたような表情や笑顔になった時。
- 訪問を快く受け入れてもらい、来てくれてありがとうと感謝された時。又、自分の知識（知っている事）がたまたま悩んでいた物事を解決出来て感謝の言葉を頂いた時。この感謝の言葉だけで、やっていて良かったと思います。
- 地域の小中学校と関わったり、子育て中の親御さんとお話しさせてもらう機会があり、大小様々な問題や課題などを伺います。その中で何が出来るか考え、何かの一助になりたいと思っています。
- 学校から見守りや訪問などをお願いされた時。
- こどもの笑顔を見た時。
- 子育てサロンなどを通して親子の楽しそうな姿をみて。地域活動に貢献できている。行政に繋ぐ役割が果たせている。
- 自分の顔と名前を一致して認識されているのがわかった時。玄関の中や家の中にどうぞとすんなりあげていただいた時。
- 様々な活動を通して地域の知り合いが増え、声を掛けられる事も多くなった。
- 「気にかけてもらっているだけで、安心する」と言われる時。「自慢話でも聞いてくれてありがとう」と言われた時。
- 困りごとのある方とは一緒に考えお役に立てた時に感じます。
- お祝い金などを贈る時に、嬉しそうなので。
- 訪問した時に笑顔で迎えられるとき。
- 生活や困りごとに関する相談を受けたときには、少しは役に立っているかと感じられましたが、地域包括センターに連絡すると「本人に電話するように言ってください」と言われるだけでした。確かに訪問するたびに「何かありましたら包括センターに電話してみてくださいね」などと伝えていましたが、それなら自治会の回覧や役員・班長に周知するのも事足りるのでは？と思いました。幸い、困窮されている方や問題を抱えている方が殆どいらっしやなかったので「どちらともいえない」という選択になりました。やりがいということでは、訪問している方々がお変わりなく不自由なく健康に過ごされているのが拝察できるときかと思えます。
- ほぼ関わりのある対象として、高齢者（65歳以上、75歳以上）の方だけの活動になってしまっているが、「話を聞いてもらえただけでも良かった」と言っていただけの時、日頃何も活動ができていないと感じている分、少しでも役に立つ事ができたのか、と思えた時。
- お家訪問やサロンなどで。
- お会いするごとに親しくなり、笑顔を見せていただいたり、ありがとうと言われたとき、やりがいを感じます。
- 訪問時、会って話をできて良かったと言われた時。
- 担当地域の多くの住民の姿を何気なく遠目に、いつでも手を差しのべる準備を常にしている。
- 地域の方々とお話しできて、普段の様子やちょっとした困り事も見えるので、自分の存在がお役に立てれば良いと思います。
- 訪問し喜んで貰えていると感じられた時。
- お宅を訪問して、些細なお悩みや質問をお聞きしていくうちにどんどん親しくなり、日常的に相談される事が増えてきます。問題解決をはかれたときは本当にやりがいを感じます。
- 地域、また個人に大変喜ばれる。
- 担当の方からの相談があったり、道ですれ違った時に声をかけると、よくわかったね一会えて嬉しいなどの言葉をもらえた時。

- 最初は大変だと思っていました。高齢者の皆様と会話しているとやりがいが出てきた。
- 困った事が起きた等、そんな時に少しでも力になれたと思える時。
- 感謝された時。
- 困っている方から感謝されたとき。
- 調査に伺った際、感謝の言葉を頂いた時。
- 頼られたり、感謝の言葉などいただいたときに、やっけて良かったと感じることがある。困ったときに、真剣に相談されると、信じてもらえていると感じる。
- 地域の方々とかなり信頼できる関係を持たれ、また顔を出した時に相手の人が笑顔で迎えてくれる時にやっけて良かったと思う。
- 対象の方に頼られた時。
- 地区の人達に頼りにされたり感謝された時。
- 担当地域の方たちと顔見知りになり、挨拶を交わしたり気軽に声をかけてくれたりすることがあります。また、相談を受けて対応できたときに「相談してよかった」などと言われたときには私自身も嬉しく思います。
- 地域の担当高齢者の方に、感謝の言葉を言われた時。問題を上手く、市役所や包括支援センターに繋げた時。見守りで知り合った方に道や、お祭りなどで声を掛けられた時。
- 困り事の相談を受けて関係機関に繋いで感謝された時。
- 対象の方に感謝されたり、近隣の助け合いに触れたりする時にやりがいを感じます。普段の生活の中で名前を呼んでいただいた時。覚えていただけているんだなと思います。結果が良い方向に解決した時。
- 問題が解決した時。
- 地域の現状の把握が出来る。
- 相談者より悩んでいた問題が解決し、感謝の言葉をいただいた時。
- 訪問活動で優しい笑顔を見られた時、ありがたうの感謝の言葉をいただいた時。地域の方々との山知り合い、交流が出来た事。

問5 あなたにとって、民生委員・児童委員（または主任児童委員）の活動の負担はどの程度だと思いますか。（該当にひとつ〇）

民生委員・児童委員（または主任児童委員）の活動の負担では、「まったく負担に感じない」「あまり負担に感じない」を合わせた『負担に感じない』が28.8%となっています。

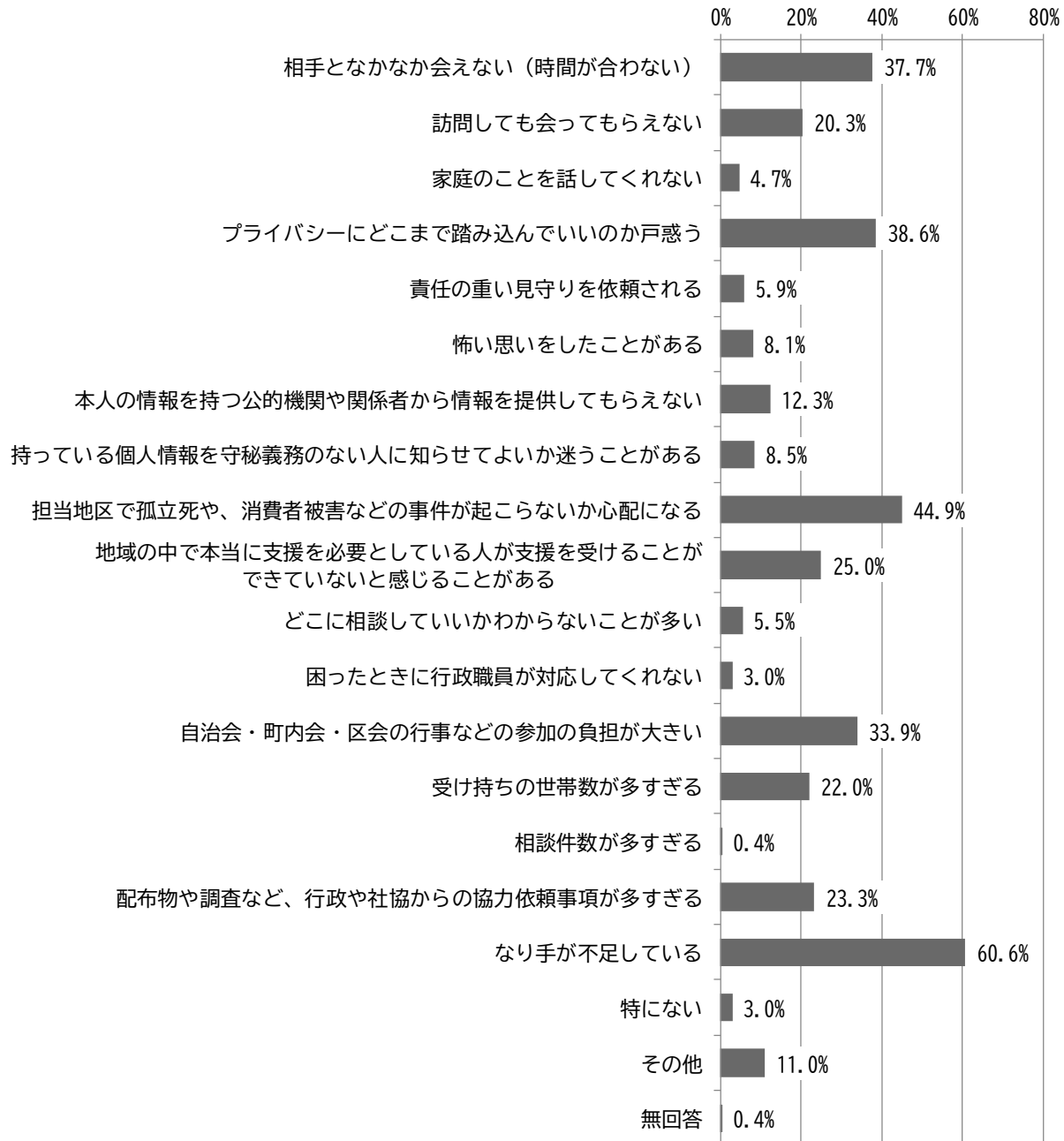
一方、「やや負担に感じる」「とても負担に感じる」を合わせた『負担を感じる』は、71.2%となっています。



項目	度数	比率
まったく負担に感じない	4	1.7%
あまり負担に感じない	64	27.1%
やや負担に感じる	148	62.7%
とても負担に感じる	20	8.5%
無回答	0	0.0%
合計	236	100.0%

問6 民生委員・児童委員（または主任児童委員）活動のなかで、特に大変・困難だと感じることは、どんなことですか。（5つまで○）

民生委員・児童委員（または主任児童委員）活動のなかで、特に大変・困難だと感じることについては、「なり手が不足している」が60.6%と最も多く、次いで「担当地区で孤立死や、消費者被害などの事件が起こらないか心配になる」が44.9%、「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」が38.6%となっています。



項目	度数	比率
相手となかなか会えない（時間が合わない）	89	37.7%
訪問しても会ってもらえない	48	20.3%
家庭のことを話してくれない	11	4.7%
プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う	91	38.6%
責任の重い見守りを依頼される	14	5.9%
怖い思いをしたことがある	19	8.1%
本人の情報を持つ公的機関や関係者から情報を提供してもらえない	29	12.3%
持っている個人情報を守秘義務のない人に知らせてよいか迷うことがある	20	8.5%
担当地区で孤立死や、消費者被害などの事件が起こらないか心配になる	106	44.9%
地域の中で本当に支援を必要としている人が支援を受けることができていないと感ずることがある	59	25.0%
どこに相談していいかわからないことが多い	13	5.5%
困ったときに行政職員が対応してくれない	7	3.0%
自治会・町内会・区会の行事などの参加の負担が大きい	80	33.9%
受け持ちの世帯数が多すぎる	52	22.0%
相談件数が多すぎる	1	0.4%
配布物や調査など、行政や社協からの協力依頼事項が多すぎる	55	23.3%
なり手が不足している	143	60.6%
特になし	7	3.0%
その他	26	11.0%
無回答	1	0.4%
回答者数	236	

【「その他」の記述】

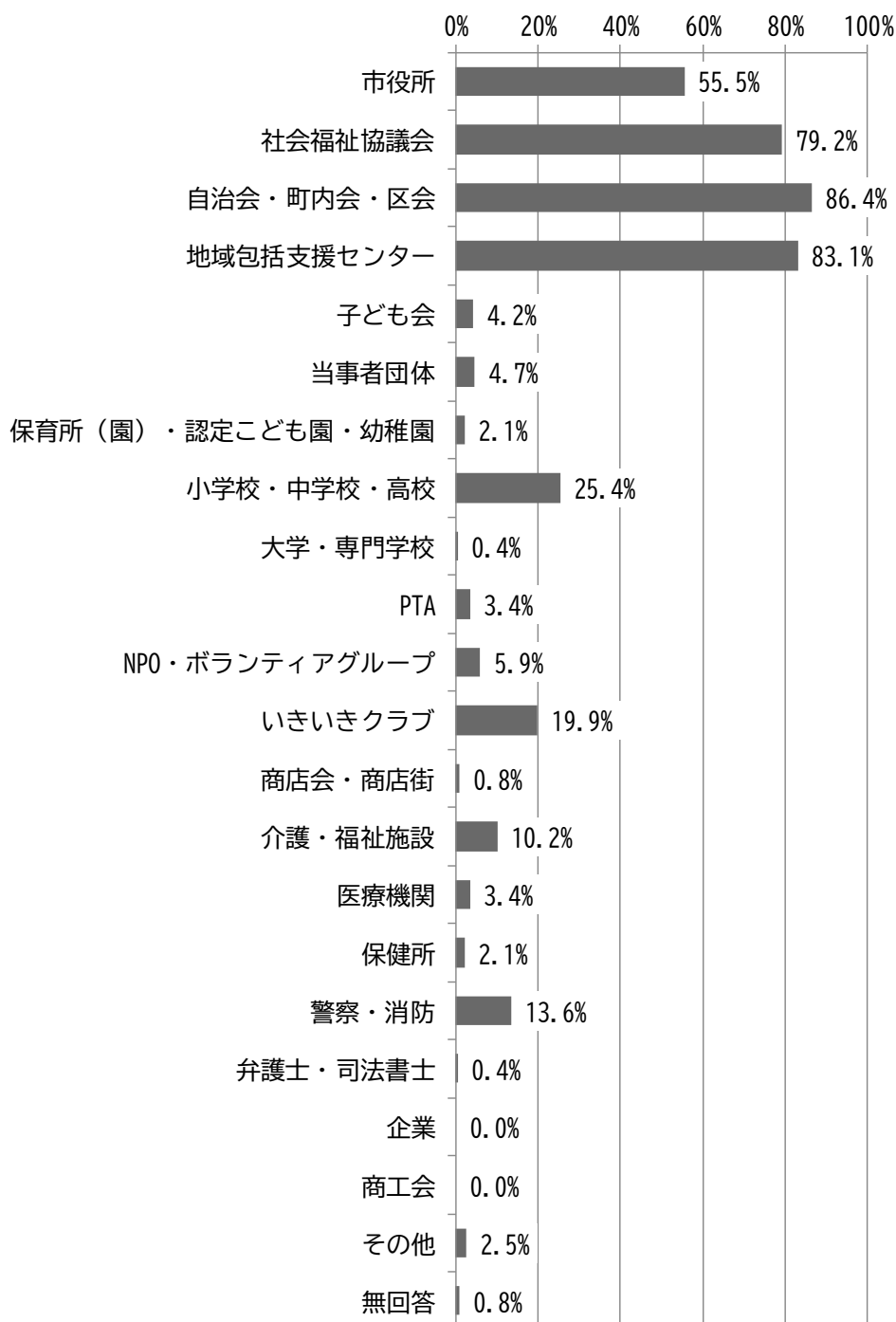
- 自宅に表札が無い。所番地が無い。
- 特に夏の暑い時に色々な配布物がある。熱中症予防、救急車要請、敬老事業関係等。
- 大変だと思う事は無いが、日本の地域福祉・社会保障の後進性を日々痛感している。
- 救急車を呼ぶのが恥ずかしい。嫌だ。救急隊員に「なんで民生委員が？」と聞かれた。罵声に近い。
- 特に一人暮らしの男性に多いのですが、何かあった時の為の調査等なのに民生委員の活動を理解していないよう時々感じます。
- 主任児童委員の拠点が無い為、備品を各自が持ち帰っている。絵本や劇の道具等、様々あるので小さな倉庫や部屋でもいいので拠点が欲しい。
- 年々老人が増えて見回り、配布物、調査等、負担が増している。
- 私の担当の対象者に虚言癖があり一番困っている(治らない)。
- 民生委員になる方が少なく、皆若い方は働いているし将来的に不安である。
- 自分が辞めたい時の後任が分からない。迷惑はかけたくない。
- 昭和世代の人は何でも民生委員に相談すれば良いと思っている。時代の流れに民生委員の制度が追いついていない。
- 民生委員の研修幹事の仕事が一番大変だと思いました。
- 団体を数として講演会などへの依頼の多さ。
- 自分の会話力が不足していると感じる。
- 家族の具合が悪かったり、自分が病気の時に調査が変わってもらえない事等。
- こちらの気持ちを理解してもらい、心を開いてくれるまでに時間がかかる。拒否される。
- 理解して頂けない、中傷され困っている。
- こども達がいても全く疎遠で色々な事が進まない。また、意思の疎通が出来ず社会的に孤立している方がいて、住んでいる周りの方々も困っている。
- 個人的な事を他人(民生委員)に話す事を嫌がる。
- 委員関係(人間関係)
- 守秘義務、個人情報等
- 行政につないでも、スピーディな対応は難しい。家族のいない人には、民生委員の手伝いが必

要となる。

- 民生委員・主任児童委員の質の低さ。
- 自主活動が強制的で活動が多い。その内容が充実していれば良いが的外れなことばかり。
- 行政や社協の小間使いだと感じる。毎日仕事しているから時間が取れない。毎月の定例会出席もキツイ。
- 仕事との両立

問7 現在、担当地区で見守り活動を展開していく上で、お互いに協力・連携している団体・組織などはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

現在、担当地区で見守り活動を展開していく上で、お互いに協力・連携している団体・組織などについては、「自治会・町内会・区会」が86.4%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」が83.1%、「社会福祉協議会」が79.2%となっています。



項目	度数	比率
市役所	131	55.5%
社会福祉協議会	187	79.2%
自治会・町内会・区会	204	86.4%
地域包括支援センター	196	83.1%
子ども会	10	4.2%
当事者団体（※）	11	4.7%
保育所（園）・認定こども園・幼稚園	5	2.1%
小学校・中学校・高校	60	25.4%
大学・専門学校	1	0.4%
PTA	8	3.4%
NPO・ボランティアグループ	14	5.9%
いきいきクラブ	47	19.9%
商店会・商店街	2	0.8%
介護・福祉施設	24	10.2%
医療機関	8	3.4%
保健所	5	2.1%
警察・消防	32	13.6%
弁護士・司法書士	1	0.4%
企業	0	0.0%
商工会	0	0.0%
その他	6	2.5%
無回答	2	0.8%
回答者数	236	

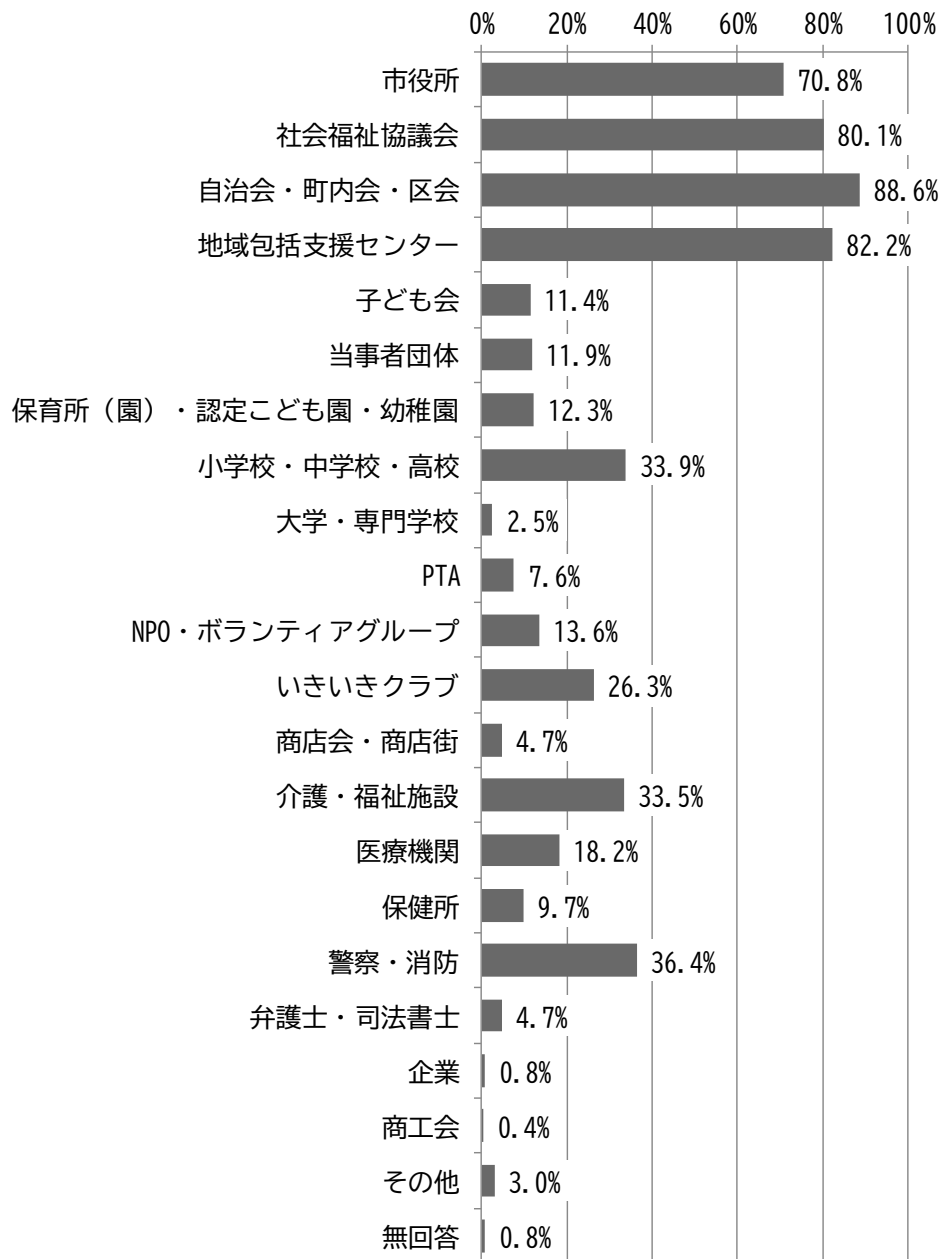
※地域の中には、高齢者、障害者、こども、子育て中の方など様々な人が暮らしており、それぞれに悩みごとなどを抱えている方がいます。当事者団体は、同じ悩みや問題などを持つ人が集まり、課題解決のための活動や、交流や親睦を深めるための組織の事です。

【「その他」の記述】

- 同じ民生委員仲間
- 見守り、サロン活動
- ケアマネ
- 小泉支え合いの会
- 青少年育成推進員
- 芝浦工大サテライトラボ

問8 今後、担当地区において、お互いに協力・連携して地域の見守り活動を進めた方がよいと思う団体・組織などはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

担当地区において、お互いに協力・連携して地域の見守り活動を進めた方がよいと思う団体・組織などについては、「自治会・町内会・区会」が 88.6%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」が 82.2%、「社会福祉協議会」が 80.1%となっています。



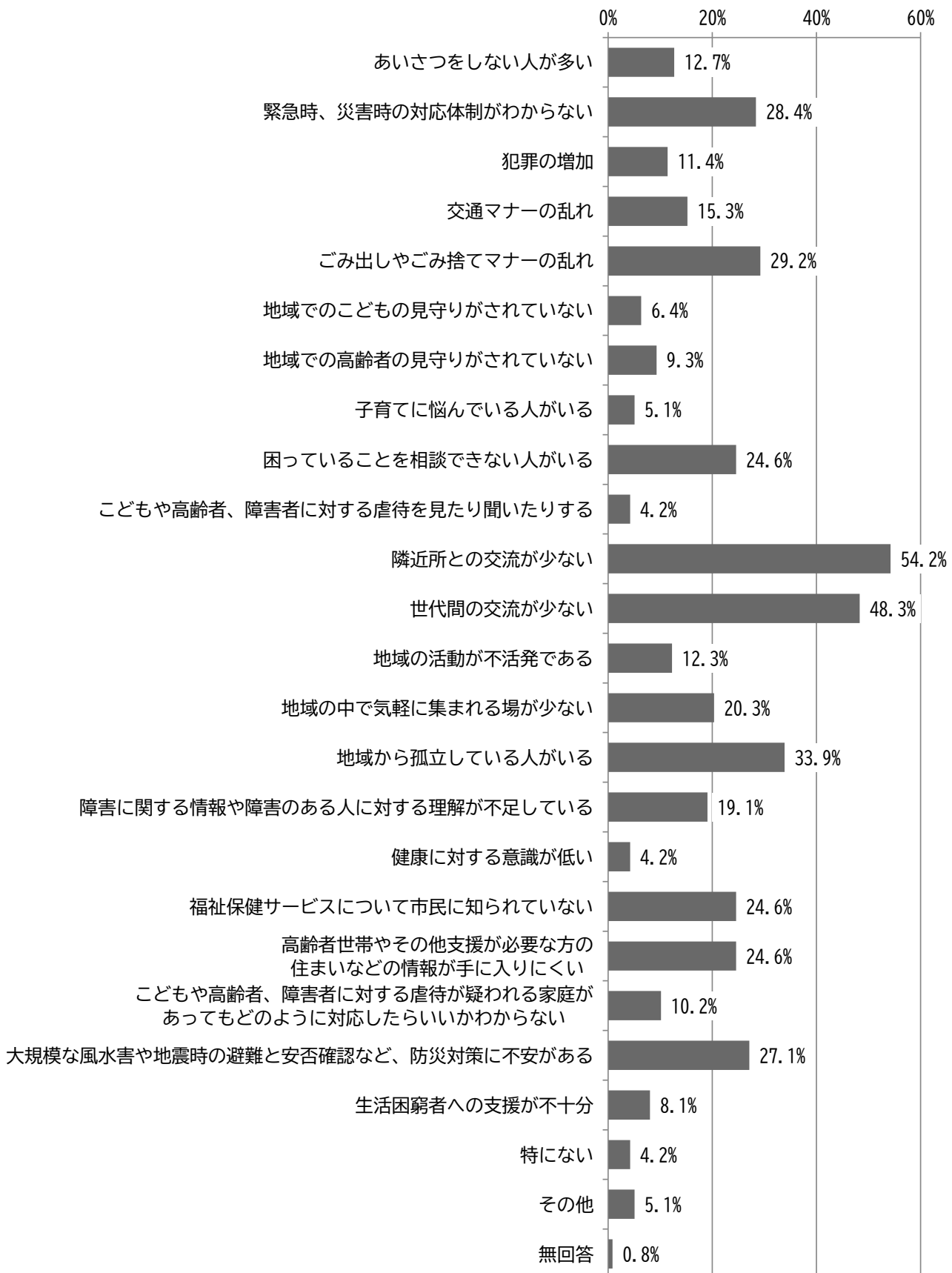
項目	度数	比率
市役所	167	70.8%
社会福祉協議会	189	80.1%
自治会・町内会・区会	209	88.6%
地域包括支援センター	194	82.2%
子ども会	27	11.4%
当事者団体	28	11.9%
保育所（園）・認定こども園・幼稚園	29	12.3%
小学校・中学校・高校	80	33.9%
大学・専門学校	6	2.5%
PTA	18	7.6%
NPO・ボランティアグループ	32	13.6%
いきいきクラブ	62	26.3%
商店会・商店街	11	4.7%
介護・福祉施設	79	33.5%
医療機関	43	18.2%
保健所	23	9.7%
警察・消防	86	36.4%
弁護士・司法書士	11	4.7%
企業	2	0.8%
商工会	1	0.4%
その他	7	3.0%
無回答	2	0.8%
回答者数	236	

【「その他」の記述】

- 市役所に民生委員部署を作る。仕事としてやらないと、最早、ボランティアの仕事としては出来ない状況。なり手がいないのは、仕事を持っていると民生委員の役目は無理。仕事として給料貰ってやるべき仕事。
- 民生委員同士
- 地域福祉実践者
- 小泉支え合いの会
- 青少年育成推進員
- 民間のサポート会社
- 郵便局

問9 活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

活動を通じて感じる、地域の問題点や課題については、「隣近所との交流が少ない」が54.2%と最も多く、次いで「世代間の交流が少ない」が48.3%、「地域から孤立している人がいる」が33.9%となっています。



項目	度数	比率
あいさつをしない人が多い	30	12.7%
緊急時、災害時の対応体制がわからない	67	28.4%
犯罪の増加	27	11.4%
交通マナーの乱れ	36	15.3%
ごみ出しやごみ捨てマナーの乱れ	69	29.2%
地域でのこどもの見守りがされていない	15	6.4%
地域での高齢者の見守りがされていない	22	9.3%
子育てに悩んでいる人がいる	12	5.1%
困っていることを相談できない人がいる	58	24.6%
子どもや高齢者、障害者に対する虐待を見たり聞いたりする	10	4.2%
隣近所との交流が少ない	128	54.2%
世代間の交流が少ない	114	48.3%
地域の活動が不活発である	29	12.3%
地域の中で気軽に集まれる場が少ない	48	20.3%
地域から孤立している人がいる	80	33.9%
障害に関する情報や障害のある人に対する理解が不足している	45	19.1%
健康に対する意識が低い	10	4.2%
福祉保健サービスについて市民に知られていない	58	24.6%
高齢者世帯（一人暮らしなど）やその他支援が必要な方の 住まいなどの情報が手に入りにくい	58	24.6%
子どもや高齢者、障害者に対する虐待が疑われる家庭が あってもどのように対応したらいいかわからない	24	10.2%
大規模な風水害や地震時の避難と安否確認など、防災対策に不安がある	64	27.1%
生活困窮者（※）への支援が不十分	19	8.1%
特になし	10	4.2%
その他	12	5.1%
無回答	2	0.8%
回答者数	236	

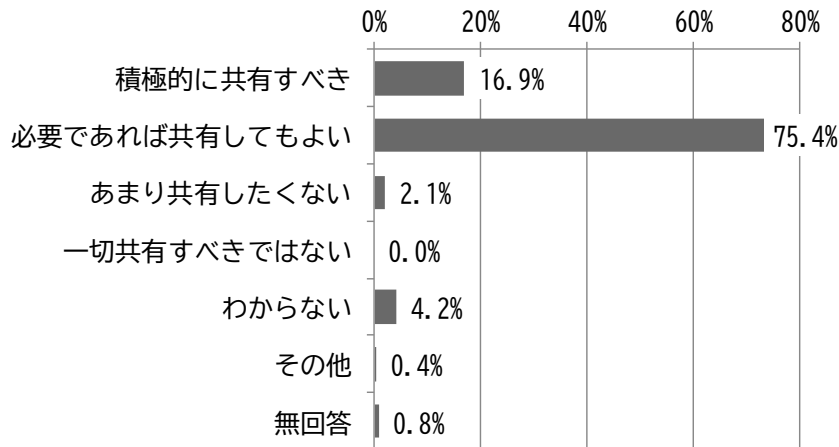
生活困窮者：現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者。
（生活困窮者自立支援法より）

【「その他」の記述】

- 自治会組織の機能低下。（公共福祉の再生）
- 家庭において親のマナーの悪さが気になる。子どもへの影響。
- ペットを飼っている人でマナーの悪い人がいる。
- 軽い認知症の方の、隣人の若い世帯が全く理解せず排除しようとする。多方面へクレームの電話をする。
- 隣に住んでいる人が何者なのかも分からない時代。町内会に加入しない人が増える中、どうすればいいのかわかりません。
- 健全な町内会は地域交流も盛ん。町内会会長を10年やり80歳過ぎても不正をしている事を知っていて「なり手がいない？」と言われた。
- プライバシーが強すぎ。活動しにくい。
- 独身の子どもが高齢者の世話をしている世帯が多くある様に思います。情報が市から提供される。事を望みますし、これから民生委員が見守りなど積極的に関わっていく必要があると思います。
- 地域行事には昔からの人達のコミュニティが幅を効かし新人は入りにくい。
- 民生委員の質が低い。
- 困っているかどうかを判断できない。
- 持ち家の放置（住んでいても住んでいなくても）で庭木が隣の家に侵略していたり、雑草の種が飛びまくって近所は迷惑。

問 10 あなたは、地域での支え合いや孤独死・孤立死の防止などのために、自治会・町内会・区会を単位とした支援者が必要な個人情報を活用する方法をどのように考えますか。(該当にひとつ〇) ※本人の事前の同意を前提としています。

自治会・町内会・区会を単位とした支援者が必要な個人情報を活用する方法については、「必要であれば共有してもよい」が 75.4%と最も多く、次いで「積極的に共有すべき」が 16.9%となっています。



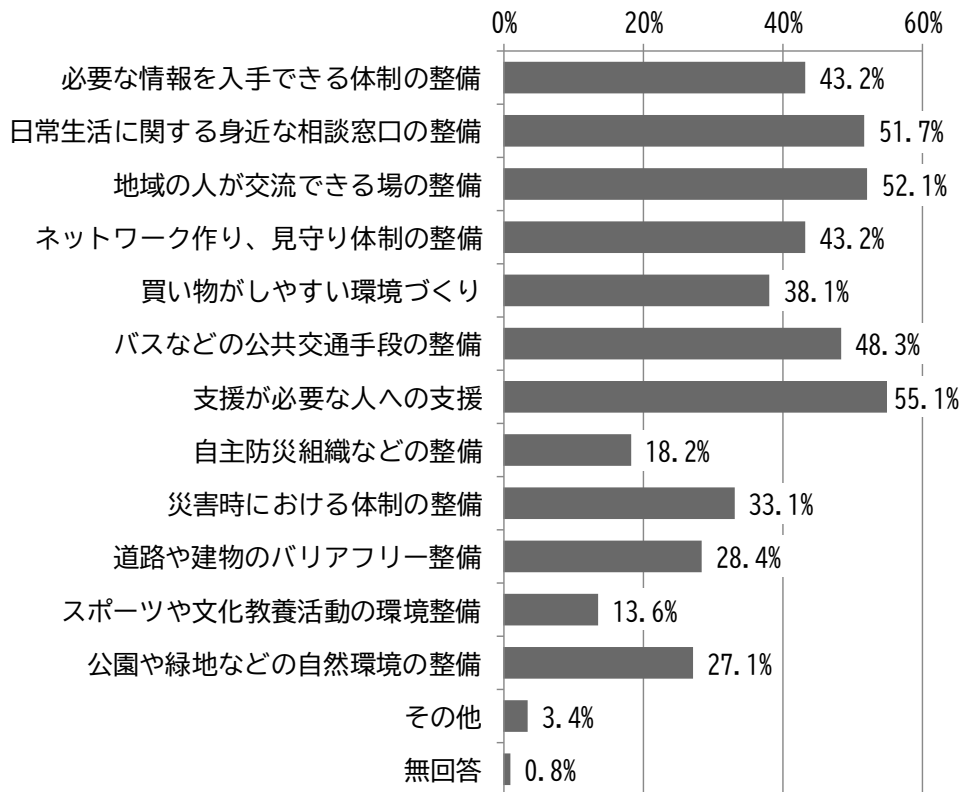
項目	度数	比率
積極的に共有すべき	40	16.9%
必要であれば共有してもよい	178	75.4%
あまり共有したくない	5	2.1%
一切共有すべきではない	0	0.0%
わからない	10	4.2%
その他	1	0.4%
無回答	2	0.8%
合計	236	100.0%

【「その他」の記述】

- 命に関わる問題と個人情報は全く別であると思います。

問 11 すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要だと思うことでは、「支援が必要な人への支援」が55.1%と最も多く、次いで「地域の人と交流できる場の整備」が52.1%、「日常生活に関する身近な相談窓口の整備」が51.7%となっています。



項目	度数	比率
必要な情報を入手できる体制の整備	102	43.2%
日常生活に関する身近な相談窓口の整備	122	51.7%
地域の人と交流できる場の整備	123	52.1%
ネットワーク作り、見守り体制の整備	102	43.2%
買い物がしやすい環境づくり	90	38.1%
バスなどの公共交通手段の整備	114	48.3%
支援が必要な人への支援	130	55.1%
自主防災組織などの整備	43	18.2%
災害時における体制の整備	78	33.1%
道路や建物のバリアフリー整備	67	28.4%
スポーツや文化教養活動の環境整備	32	13.6%
公園や緑地などの自然環境の整備	64	27.1%
その他	8	3.4%
無回答	2	0.8%
回答者数	236	

【「その他」の記述】

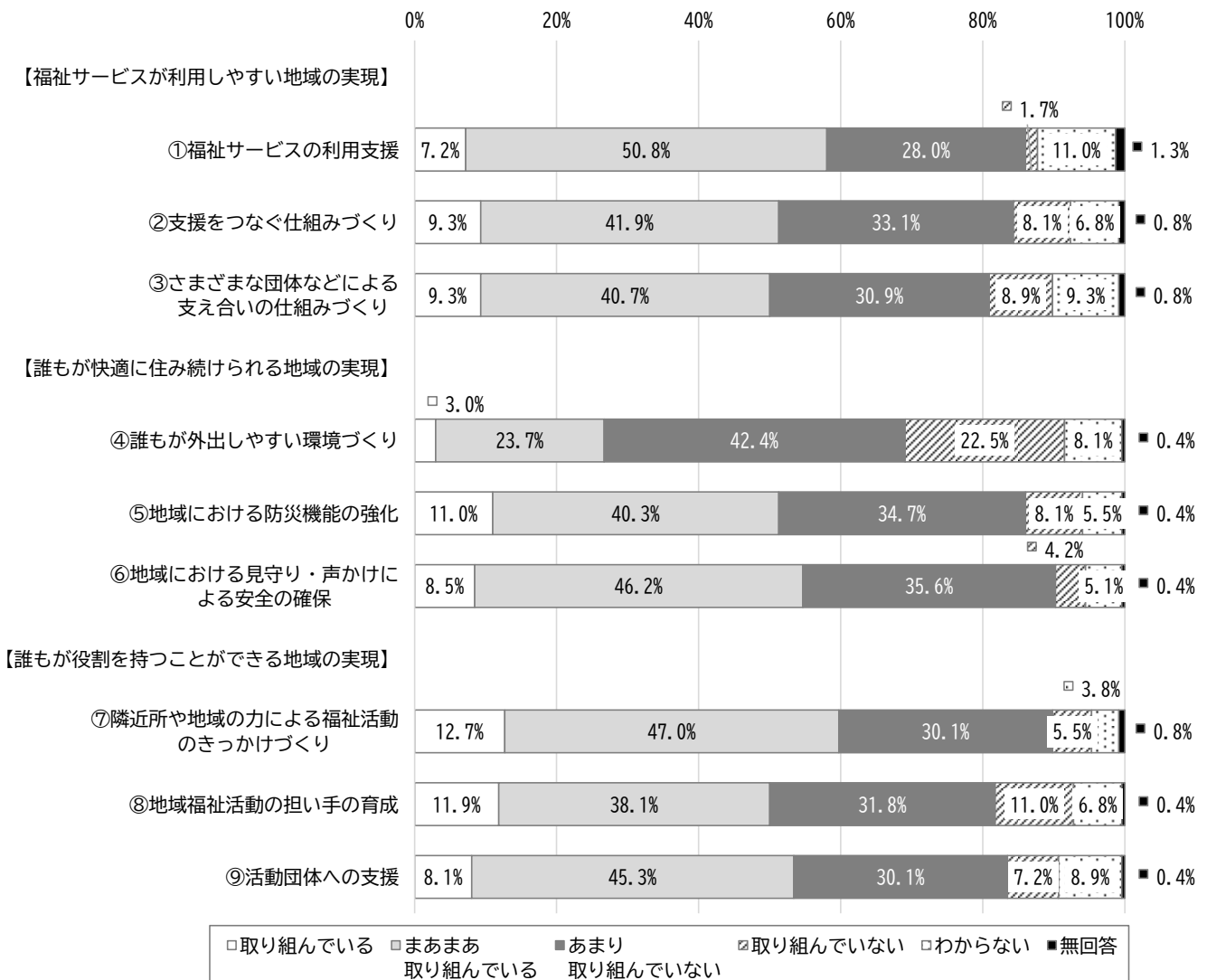
- 公共福祉の再生が必要と思います。
- 社協、包括の存在の周知徹底。ある事すら知らないし何をしているかも知らない人が多い。
- 高齢者こそネット。
- 乳幼児に関する支援センター・こども園等はだいが充実してきたと思いますが、高齢者の支援はデジタルだと使えない方が多く、買物(ネットスーパー)等の利用は難しい方が多いので、代替案を何か考えてほしい。上尾市のはずれにあるので交通の便が悪い。ぐるっとくんの増便をお願いしたい。
- 空き家を憩いの場に転用出来たら良い。自治会館等は距離によって高齢者は行けない。高齢者が軽い運動が出来る器具等を公園に設置すると良い。
- 家族間での話し合いやコミュニケーションを日頃より心がける。
- 自主防災組織があるが殆ど機能していない。
- 民生委員の質の向上

問 12 地域における取り組みについて、現在の状況と今後の期待度はどれにあたりますか。(それぞれひとつだけ○)

■取り組み状況

現在の取り組み状況の「取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』では、「⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり」が 59.7%と最も多く、次いで「①福祉サービスの利用支援」が 58.0%、「⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保」が 54.7%となっています。

一方、「あまり取り組んでいない」「取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』では、「④誰もが外出しやすい環境づくり」が 64.9%と最も多く、次いで「⑤地域における防災機能の強化」「⑧地域福祉活動の担い手の育成」がともに 42.8%、「②支援をつなぐ仕組みづくり」が 41.2%となっています。



上段：度数 下段：比率

項目	取り組んでいる	取まあ組まあ	取あまり組んでいない	取り組んでいない	わからない	無回答	合計
【福祉サービスが利用しやすい地域の実現】							
①福祉サービスの利用支援	17	120	66	4	26	3	236
	7.2%	50.8%	28.0%	1.7%	11.0%	1.3%	100.0%
②支援をつなぐ仕組みづくり	22	99	78	19	16	2	236
	9.3%	41.9%	33.1%	8.1%	6.8%	0.8%	100.0%
③さまざまな団体などによる 支え合いの仕組みづくり	22	96	73	21	22	2	236
	9.3%	40.7%	30.9%	8.9%	9.3%	0.8%	100.0%
【誰もが快適に住み続けられる地域の実現】							
④誰もが外出しやすい環境づくり	7	56	100	53	19	1	236
	3.0%	23.7%	42.4%	22.5%	8.1%	0.4%	100.0%
⑤地域における防災機能の強化	26	95	82	19	13	1	236
	11.0%	40.3%	34.7%	8.1%	5.5%	0.4%	100.0%
⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保	20	109	84	10	12	1	236
	8.5%	46.2%	35.6%	4.2%	5.1%	0.4%	100.0%
【誰もが役割を持つことができる地域の実現】							
⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり	30	111	71	13	9	2	236
	12.7%	47.0%	30.1%	5.5%	3.8%	0.8%	100.0%
⑧地域福祉活動の担い手の育成	28	90	75	26	16	1	236
	11.9%	38.1%	31.8%	11.0%	6.8%	0.4%	100.0%
⑨活動団体への支援	19	107	71	17	21	1	236
	8.1%	45.3%	30.1%	7.2%	8.9%	0.4%	100.0%

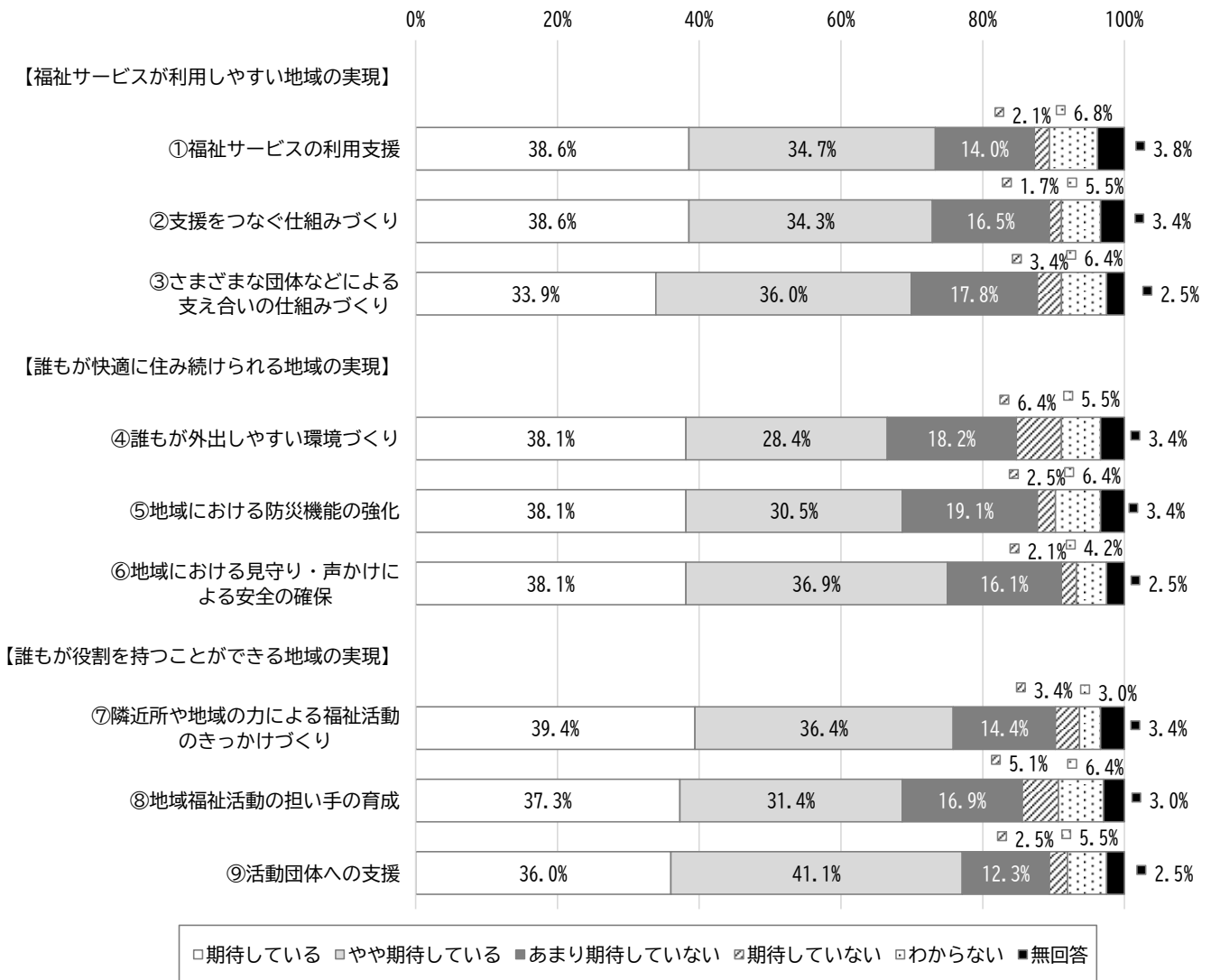
※参考 取り組みと具体的な内容

【福祉サービスが利用しやすい地域の実現】	
①福祉サービスの利用支援	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な福祉サービスが受けられる ●わかりやすい、適切な情報を入手できる ●判断能力の不十分な人が適切に制度やサービスが利用でき、権利が守られる
②支援をつなぐ仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●困っている人が気軽に相談できる場がある ●困ったときの相談窓口が周知されている ●仕事や生活に困っている人が支援を受けられる
③さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●市民や団体が参加しやすい、活動しやすい環境がある ●福祉にかかわる団体が連携して、困っている人を支えている ●地域のボランティアが増え、育成されている
【誰もが快適に住み続けられる地域の実現】	
④誰もが外出しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが外出しやすい、利用しやすいまちづくりがすすめられている ●市民が利用しやすい公共交通網が充実している ●高齢者や障害者の移動支援や外出支援、生活支援が充実している
⑤地域における防災機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●防災に関する情報提供が充実している ●自主防災組織の活動により、地域の防災力向上が図られている ●防災訓練への参加など、市民意識が醸成されている ●助けが必要な人が、緊急時に素早く避難できるような連携や体制づくりがすすめられている ●災害ボランティアが育成されている
⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障害者世帯の見守り支援が行われている ●子育て家庭の孤立化防止、ひきこもり防止、虐待防止の取り組みが行われている ●悩みごとを抱えた人が気軽に相談できる場がある ●消費者被害の防止、地域の防犯活動が行われている
【誰もが役割を持つことができる地域の実現】	
⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●普段のあいさつや声かけが行われている ●地域の行事へ積極的に参加している ●地域の活動が活発に行われている ●障害などの福祉に関する教育や啓発が行われている
⑧地域福祉活動の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなが気軽に取り組める健康づくり活動やイベントが行われている ●地域の活動やボランティア活動についての情報が提供されている ●地域の活動や健康づくり、ボランティア活動などに関わる人が増えている
⑨活動団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障害者、子育て中の人などが、生きがいや仲間づくりに気軽に集まれる場や機会がある ●気軽に集まれる場や機会の情報が提供されている

■期待度

今後の期待度の「期待している」「やや期待している」を合わせた『期待している』では、「⑨活動団体への支援」が77.1%と最も多く、次いで「⑦隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり」が75.8%、「⑥地域における見守り・声かけによる安全の確保」が75.0%となっています。

一方、「あまり取り組んでいない」「取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』では、「④誰もが外出しやすい環境づくり」が24.6%と最も多く、次いで「⑧地域福祉活動の担い手の育成」が22.0%、「⑤地域における防災機能の強化」が21.6%となっています。



Ⅱ 調査結果【4 民生委員・児童委員、主任児童委員】

上段：度数 下段：比率

項目	期待している	やや期待している	あまり期待していない	期待していない	わからない	無回答	合計
【福祉サービスが利用しやすい地域の実現】							
①福祉サービスの利用支援	91 38.6%	82 34.7%	33 14.0%	5 2.1%	16 6.8%	9 3.8%	236 100.0%
②支援をつなぐ仕組みづくり	91 38.6%	81 34.3%	39 16.5%	4 1.7%	13 5.5%	8 3.4%	236 100.0%
③さまざまな団体などによる 支え合いの仕組みづくり	80 33.9%	85 36.0%	42 17.8%	8 3.4%	15 6.4%	6 2.5%	236 100.0%
【誰もが快適に住み続けられる地域の実現】							
④誰もが外出しやすい環境づくり	90 38.1%	67 28.4%	43 18.2%	15 6.4%	13 5.5%	8 3.4%	236 100.0%
⑤地域における防災機能の強化	90 38.1%	72 30.5%	45 19.1%	6 2.5%	15 6.4%	8 3.4%	236 100.0%
⑥地域における見守り・声かけに よる安全の確保	90 38.1%	87 36.9%	38 16.1%	5 2.1%	10 4.2%	6 2.5%	236 100.0%
【誰もが役割を持つことができる地域の実現】							
⑦隣近所や地域の力による福祉活動 のきっかけづくり	93 39.4%	86 36.4%	34 14.4%	8 3.4%	7 3.0%	8 3.4%	236 100.0%
⑧地域福祉活動の担い手の育成	88 37.3%	74 31.4%	40 16.9%	12 5.1%	15 6.4%	7 3.0%	236 100.0%
⑨活動団体への支援	85 36.0%	97 41.1%	29 12.3%	6 2.5%	13 5.5%	6 2.5%	236 100.0%

誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

- 学校・家庭・地域でつながりを大切にしていく。共働き世帯が増えているので、どう地域と関わっていくか。時代の変化と共になくなっていく行事や体制も本当になくして良いのか見直すことも住みやすさに連がるのではと思います。
- 社会は時代と共に変化してきました。プライバシー、個人情報など人とのつながりがむずかしくなっています。その中でどう対応していくのか考えさせられます。
- 住民個人個人が本当に(真剣に)考えてくれませんか！
- 夏の訪問や配布物は暑すぎて民生委員の方が熱中症になりそうです。単身高齢者調査 65 歳～ですが、働いている人も多く、訪問しても居ない事も多く、やっと会えても快く思われない事が多いです。
- 高齢者宅を訪問しているが、中には表札を外し、所番地を削り取り、周りとの関係を絶つ行動に出る人が見受けられる。防犯上の問題もあろうと思うが、こういう人を区の色々な事に参加させ、周りの人に知ってもらう事が大事であると感じる。
- 自治会に入らない人が多くなっている様に思う。災害等があった時、本当に大事な事と思う。新しく越してきた方へ市役所からも勧めてほしい。
- 上尾市のホームページをもっと見やすく使いやすいように変更して欲しい。分かりにくく必要なページにいくのに大変。このアンケートの結果が本当に生かされて計画に盛り込まれ実行される事を願います。
- 何事においても個人差があります。同じ人がずうっと長い事、町内の仕事をして下さっていたり、理解の無い人もいます。町内会に入会していない人がいる事も初めて知りました。根気良く穏やかに接していくほか無いですね。コロナ以降、人を警戒する傾向が強くなった様に思います。
- 私自身の反省として感じる事は、地域福祉を進める為には何よりも「住民自治」を学ぶ事から始めなければなりません。「人は一人では生きていけない」動物です。「人は、人と人が支え合って人となる。」あったかい地域社会づくりは自立した市民がいてこそです。学ばなければ民主主義は自然と根付く事は無いと思います。自治会、公民館、様々な市民団体は全て民主主義の学校です。特に民生委員の皆様には、憲法・社会福祉論、児童福祉論など基本的な学習をして頂きたい。「生活保護バッシング」や「自己責任論」を会議で聞かれなくなる民生委員を望みます。
- ご近所、町内会、自治会等でいつでも会話がしやすい様な場所作り。誰もが参加しやすいハードルを低くした雰囲気を考え、輪を広げていく事が大切だと思います。
- 町内での「あいさつ」が一番大事だと思う。
- 車の運転免許返納後、通院する時の移動(送迎)を支援して欲しい。
- 適度な距離間のある人間関係で成り立つ自治会等の組織を作る事で参加しやすい環境を目指すのがいいと思います。
- ご近所の付き合いを感じます。私自身、仕事をしていたので日中の近所の事が分らず、近所の高齢の方へお話したら色々情報を頂き助かった事がありました。私も現在、若い方にちょっとお会いした時、挨拶代わりに話しております。地域で進めていい事かな？
- 大石東地区で起こった乳幼児が亡くなった件に大変心を痛めました。子育てサロンや相談機関に足を運ばない(運ぶ事ができない)親子に対するケアを考えなければならないと思います。予算を増額してでも、子育て世代を支える施策を考えて頂きたいです。生まれてから老齢期になるまで上尾に住んで良かったと言える上尾市を期待します。安心して暮していける上尾市になるよう、アンケートを生かして頂けたら幸いです。
- 自宅近くに空き家があるのですが、草木が茂り野良猫やハクビシンの住処になり、柿の実を食べに毎夜現れ、屋上・ベランダ等に糞害を受けました。近所の家も同様でした。空き家の対策を早急をお願い申し上げます。
- 地区の役員を引き受けてくれる方が大変少なくなっている。皆さん、大変な事には関わりたくないと思う方が増えている様に感じます。最近、手伝った国勢調査などは市の方で行っていくのが良いように感じました。
- 訪問して思うのが、世の中の人は福祉について困っていないのだろうと思われる。いざ自分の立場で福祉が必要になった時にどこに相談すればいいのか分からず、自分で何とかするから大

丈夫！と思っている。生活保護も知らない(家賃を払っていけない)。月 7 万円の年金、こういう人多すぎる。掘り上げるのは民生委員だけ？市長さん、職員を可愛がってばかりいないで町中を歩いて！高齢者の家を回って！市民第一ではないのですか？職員第一ですか？おかしいでしょ。

- 交通機関の充実、買物、医者などに行きやすい環境。
- 色々な詐欺事件もあり、とにかくプライバシー保護という事で、民生委員の調査、チラシ配布にも非協力的な面を感じる事があります。自治会や民生委員の活動も地道な物事の積み重ねが必要という事でしょうか。市の広報等で毎年、1年に1回くらい民生委員についての周知徹底をお願いできたらと思います。
- 一戸建て訪問は比較的面会は可能だが、アパート等の面会は民生委員の立場でもなかなか理解されず話が出来ない例がある。住民が住みやすい事を考えると安心した生活が出来る環境づくりが必要です。
- 自治会の退会が多くなっている。デジタル化も進めていいのでは？
- 普段からあいさつが一番と考えている。
- 新型コロナの流行以後、学校と民児協の協働する機会が減った。学校も協力を求めているが、うまく機能していない。オレオレ詐欺などが増え、個人情報を知られたくない家庭が増えた。地域のボランティアが高齢化して若い方の参加が少なく、活動に支障がある。私の住む地域は色々な行事を企画して地域住民の交流を進めているが、参加する人が限定的である。回覧やチラシを読んでいない。関心を持たない人が多い。
- 時代背景もあると思いますが、信頼される事の難しさ、対面でのコミュニケーションが大切だと思いますが、物事を簡単に楽にとという考えの方が増えていて残念です。物事、プロセスの大切さを解ってほしいと思いました。
- 「この人と一緒にいると安心。この場所にいるとホッとできるんだ。」そんな声が聞こえる街づくりを期待します。
- 高齢者が多い為、バス等の交通手段を検討してもらいたい。本数が少ない。
- 上尾市では 65 歳以上の単身高齢者と 75 歳以上の高齢者世帯が毎年民生委員の訪問対象です。こども世帯が分離してあると訪問対象になりますが、世帯分離していないと訪問対象になりません。地域を見回すと未婚のこどもが多く、親と同居している状態です。親の介護が必要になった時、必要になりそうな時に福祉の情報が届いているか心配です。中には 90 代の父親と障害を持つ息子(50 代)の 2 人家族という家庭もあり、これも対象外です。世帯分離していない家庭も一定の年齢に達したら、訪問対象にしては如何でしょうか。民生委員の負担は増えますが、誰もが福祉の恩恵にあずかれるのではないのでしょうか。見守る側としても安心です。
- 土日開庁して欲しい→市役所。高齢者にネットの使い方を教えていく事が急務。会議もネットですべき。(民児協、定例会等)
- 主任児童委員は 0 歳～18 歳。民生委員は 65 歳以上を受け持っていますが、その間の 19 歳～64 歳までのひきこもりやどこの機関とも繋がっていない人が気になります。いつも市役所の皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。寒い折、皆様どうぞご自愛ください。
- 3 年間、民生委員をやらせて頂き無事終了しました。他のボランティア活動と重なる事もあり欠席する事もありました。また男は私一人だけだったので女性陣の話になかなか入っていけない時もありました。次の方が事故無くやって頂く事を祈っています。
- 若い人がもっと地域に参加出来る街づくりが良いなと思います。
- 自治会が主体となって多くの行事が行われている。交流が出来ていると思う。毎週、バランスボール、歌おう会、軽体操、お茶とお菓子の団欒会、e スポーツのボウリング、麻雀など楽しんでいる。参加者が決まってきているのが今後の課題だと思う。参加してない方の対策！！
- 地域に高齢者が増え、私本人も対象者ですので、あと何年お手伝いできるのか、日々健康でいなくてはと思っています。
- 支援が必要な人、主に障害者については情報が共有されないで支援できない。状況が分からないので災害時の支援は不安。原市南地区は上尾の中心からはずれているので、行政(市役所)等の交通手段が運転出来ない高齢者は不便。ライドシェア等の運用が多くなると良い。病院の通院も困っている人が多い。場所によっては個人商店が無くなり歩行困難な人は買い物難民化している。

- 地域交流センターの存在や社会福祉協議会の役割など、民生委員になって初めて知った。一般の住民の方々も私と同様だと思う。周知方法をもっと工夫した方が良いのではないか。民生委員はもっと自治会と連携する必要があると思うが、自治会役員も年齢層が高く、次の世代にバトタッチしていくのが難しい状況だ。若い世代にもっと関心を持ってもらうのが今後の課題だと思う。
- 問12の⑧の設問。自治区の地域活動が未整備。住民個々のボランティア意識が薄い。
- 団地に住んでいますが、誰でも気軽にコーヒーなど飲める店があったら良いと思う。サロンは会員制もあったり、ちょっと慣れてない人は利用しにくい感じがする。高齢者をあまりにも高齢者扱いしている気がする。また、若い人へのつながりが無い。高齢者ばかりがサービスを受けている感じがする。
- 社会参加等、人との関わりを持つ事が大事。参加される人はほぼ同じ人で、あまり家から出ない人を如何にしてひっぱり出すかが重要。一度でも人と「つながり」を持ち、次から次へと輪が大きくなるように呼びかけています。そうする事で顔が覚えられます。期待しています。
- 地震等の大災害があった時に一人暮らしの高齢者等が安全に避難したり出来る様になるといいです。
- 地域の住民同士の交流の機会が少ない事が住みやすい町づくりの障害となっていると思います。
- だんらんの家を立ち上げたいと思っています。気楽に集まれる場であり、機会がある事が大事です。顔を合わせていけば見守りも確かなものになりますし、助け合いにもつながります。認知症への理解を深めたいです。
- 委員としての調査での訪問。その中で、こんな困った事があると相談され専門部署に繋がられるのは100世帯回って2~3件です。調査委員の技量にも依ると思いますが、それぐらい皆様、心を開いて話してくれません。サロンにお誘いしても参加されず。しかしながら残り3年、調査対象以外の方々へも目配り、気配りしながら和やかなお付き合いが出来る様、心がけていくつもりです。
- 個人情報に関係で、どうしても物事を共有できない部分がある。困った事や希望などわかり合え、地域で力を合わせて住みやすさを感じる地域に出来るといいと思います。働く人が60歳以上も多く、地域を支える人材が難しい。若い人も働いている人も、地域にどうやって働きかけるかという事が大切ですね。住んでいる人が支える地域づくりを、お互いの力を出し合い生活できる地域にこれからも協力したい。
- 民生委員を受けてから、自ら地域活動に関われる様になった事や地域の実情が分かるようになった。駅周辺(バス通り)に関わらず、歩道が非常に狭く斜めで歩きづらく、歩行器や車いす利用者には不安定であると思う。実際には自身の母親が歩行器使用者であるが、死ぬまで自身の住まいには呼べなかった。また、体調が悪くて思う様に歩けない時、駅まで行かないと店がなくて不便であると痛感している。
- 高齢者が安心して生活出来るには、買物が楽に出来る事も一つかと思っています。自治会館(公民館)はありますが、地域の中心に住む人以外には遠い。4つか5つぐらいあればいい。60歳定年時代は町内会や老人会はパワーがあったが、今その方々は80代となりパワー不足を感じる。今の60歳代が70歳になり仕事が無くなった時、うまく地域でコミュニケーションをとって生きていけるのか不安。未来の地域の事が予想できなくて不安はあるが、具体案は分からない。町内会退会者が目に見えて多い。もっと広く参加者を募るにはどうしたら良いのか。
- 地域であいさつ運動や各種行事を主催し、多くの方々との交流の場が広がれば良い。ただ、どのような組織が中心となって進めていくかが課題だと思う。
- 住みやすい町づくりの基本は、人の交流の機会を密にする事だと思います。その基本はあいさつであり、日本では知っている人にもみあいさつや声掛けをするが、外国では道で会った人全てにあいさつをする点が一番異なっていると思う。また、交流の場に参加するのが殆ど女性で、男性の参加が極端に少ない事にいつも悩んでいます。
- 町内会の盆踊り大会等で老若男女が一堂に集り、和やかな時間が過ごせればと思います。自由に遊べる空間、公園等がとても大切。昔は野球ができたが今はNG。寂しい。自分で自分の首を絞めている人間社会。
- 私もいよいよ後期高齢者の仲間入り？まだまだ元気なので、まるで墓場に近付きつつあるようなこのネーミングには抵抗を感じます。だから「高貴高麗者」と当て字に換えて読んでいます。
- 地域・近所の方との助け合いが出来る様に、お年寄りが気軽に乗れる交通機関があると良い。道路や公園、ゴミ等の環境整備。公民館、集会所等、集まりやすい場所づくり。年に数回でよ

いが市民が楽しめるイベントを。

- 高齢者でなくても孤独死が発生している現状。もはや民生委員の範囲を超えています。医院の先生が「自分の患者の安否確認(予約に来院せず連絡取れない)をして欲しい」と私の TEL 番(留守電)に連絡。私の TEL 番は市役所から聞いたとの事。私は仕事終了後、帰宅して(19:30)留守電に気付く。その後(20:00~)、真っ暗なアパートに出向くも返答無し。警察→消防→数日前に救急搬送されていた。何故、市役所に問い合わせた医院に民生委員の TEL 番が告知されるのか疑問でならない。
- 犯罪の無い世の中になり、近所の人とコミュニケーションが上手に取れる様になれば住みやすくなると思うけれど、何が必要であるのかは分かりません。民生委員として活動してきましたが”民生委員”の存在を知らない人も多く、今の時代、民生委員が必要なかが分かりません。
- 砂利道を少なくしてほしい。(要望依頼は速やかに行う事)垣根が境界より出ない様に周知徹底する事。まず自分の自宅周辺を綺麗にし、人に迷惑をかけない様にする事。
- 車や工具などの店(会社)ばかりでなく、生活に欠かせないスーパー等がもっと近くに出来ると良い。ご近所の高齢の方ともよく話します。そして、こども達が安全に楽しく遊べる場所、特にボールを使える所が必要。家で花火の文化も消えつつありますね。そんな所もあれば、皆が集まった時に良い思い出が出来ますね。こどものうちに体験させたい事です。
- 民生委員になって近所でも話が出来なかった方との交流が出来、立ち止まって話が出来る様になった。民生委員同士のつながりが出来、良かったと思います。
- 地域による日々の挨拶運動の徹底。親睦を図る。
- 孤独死に立ち会った事があり、地域による見守り活動の大切さを実感しています。民生委員・児童委員の重要な役割のひとつに見守り活動がありますが、なり手が不足している事が懸念されます。民生委員・児童委員の補助員制度等ありましたら、ぜひ推進して頂きたいと思います。よろしくお願い致します。
- 世間では免許返納は良い事、返納しないのは悪しきことの様に聞こえます。しかし、返納後の高齢者の生活はどうなるのか。遠くのスーパー等、往復で歩いて行けない方が殆どです。一緒に住む家族がいつでも連れて行ってくれるとは限らない。高齢者世帯の病院通い等、誰が連れて行ってくれるのか。商店街やスーパー、コンビニ、病院が無い地域の方は生活難民となります。社会生活を安心して営めるような施策をもっと考えて頂きたい。
- 住みやすい地域づくりの考え方の中で、私は特に高齢化による行動しにくい人をどう外に出すか、交流の機会を作るか、またゴミ問題。あまりに区分が多く、老人は区分どおり出すのが面倒になりゴミ屋敷になったり。また、会費も払わず出していたり、出すのが場所確保のない状態。地域に関わらない人をどう加われる様にするか。保育園への入所の難しさ。全て市のあり方によって他市との違いを調査し向上した地域になって欲しい。特に市職員は、収入の入る仕事という会社員意識を持たず、市の向上に努めて欲しい。最近、さいたま市の西楽園、わくわくランドを利用し、違いをすごく感じる。上尾は高いので人が少な過ぎる。
- 気楽に集まれる場を作る事が必要。そこから問題点や検討事項を共有する。すぐに解決出来なくても問題点を共有し一歩進める事が第一歩である。
- コンパクトシティの実現
- 担当地区にアパートがありますが、住民は町内会に入会しておらず回覧板も回らず、町内会の行事等が伝わっていない。役員に聞いたところ、住民の出入りが頻繁で把握出来ないとの事で、今はノータッチ状態です。単身高齢者もおり、民生委員のみのつながりだけでは不安もあります。本当に困っている人が心を開いてくれる迄には時間がかかり、相談相手になっているか心配になる事があります。
- 地区のお祭り等は大変多くの方々に来てもらい、民生委員は受付を任されていて、その時は元気な顔を見られてホッします。みんなが来てもらえそうな企画があると良いかも！
- 徒歩圏内に気軽にランチやお茶飲みが出来る「シニア食堂」があると良い。
- 先日、ご近所で亡くなられた方がいて、その方のお隣さんも知らなかったと聞きびっくりしています。私のご近所で挨拶をしない方は殆どいません。
- 私の住む地域は上尾市のはずれの方で、交通の便も悪く商業施設も無く、地域の皆が集まれる場所もありません。これらの事は今後、高齢化が増々進む中、絶対に必要な物だと思いますが改善する当てもありません。住民同士のコミュニケーションは比較的良好で皆が助け合っていますが、若い人も少なく毎年、歳を重ねていくにつれてお互い助け合う事も出来なくなる日もそう遠くないと思います。誰もが住みやすい町づくりには最低限必要な事だと考えます。

- 高齢者夫婦、同居、単身者と分かれていてイベント(草餅交流会、介護予防教室等)対象を単身者だけにするのはおかしい。同居家族がいても日中は一人。夫婦でいてもどちらかが施設に入れば一人。高齢者全員がイベントに参加できたらと思います。カレンダーも単身者だけ。
- 高齢化時代に入り免許の返納等にて買物等の不便を感じるという人の話をよく聞く事が多いが、交通の便を良くする対策をしてほしい。ぐるっとくんの増発等。もう少し地域の中を細かく回る等。
- 挨拶運動の拡大。人とのコミュニケーションはあいさつから。小中学校は大きな声でのあいさつを指導して欲しい。働き方改革、AI・ノートパソコン等、こどもの教育に先生方が迷い、指導できるのか不安がある。先生方が部活を離れこどもに夢を与えられるのか。先生との信頼関係でこどもは成長すると思う。児童委員は必要無いと学校は思っているのか。余計な口を出すなどばかりに感じる。地域と「協働」してこどもを守る基本の考え方が変わったと感じるこの頃です。高齢者を見守っていると、明日は我が身、先輩方の人生に歩み寄る事で人を愛する事は見守る事だと体感でき大きな希望にもなる。
- 住みやすい地区にしよう、こうあったら良いよね、そう思う地区・地域を一緒に作りましょう。
- 一言で高齢者の問題と言っても、実態はあまりにも様々である。家族と暮らし、自分の趣味もあり、地域の知人とよく交流している幸せな方々も多く見る一方、殆ど地域との関わりを持たず、家にひきこもっていらっしゃる方もいる。勿論、支援が必要なのは后者であるが、そういう方々は発信力が弱いのでそこを把握し、支援組織に繋げる事が難しい。何度か経験があるが、本人が動けない(行動できない)ので民生委員として相談に行くが、「支援の第一歩はご本人からの申し出」と言われ、その先に進めないのが歯がゆかった。民生委員への依頼事項が多い割には、民生委員の立ち位置は弱いと感じている。
- 上平地区ではこどもが気軽に遊べる場所が少ない。こどもが遊ぶ場所での親同士のつながりが出来てくると思う。
- 問 12 での評価が少々低めになってしまった事に私自身驚いている。改めて考えると、それぞれの取り組みに対して知らない、あるいは関心を持っていなかったかもしれない。今後はもう少し注意して見守りたい。
- 1. 8050 問題。民生委員対象ではないので見守りが届かない。2. 民生委員の知名度が低い。(変な人が来たかと思われてしまう) 3. 高齢者の年齢的定義。65 歳で高齢者扱いは喜ばれない。4. 地域の行事に一切見向きもしない高齢者をどのように向かせるか。5. 本当の意味での民生委員の活動をもっと周りに周知できれば。6. これからは孤立・孤独の人が多くなる。家族間が希薄。7. 6 年間、民生委員をやってきて、始めはコロナ禍の最中、何をどうやって訪問したらよいか不安だらけでしたが、私個人から「毎日元気だより」というお手紙を配り訪問時に差し上げて来て「本当に良かった」と皆さんから嬉しい言葉を頂きました。
- 医療機関が少ない。隣の市(病院)でも上尾市の医療補助が使える様にならないか！バス路線(ぐるっとくん)…あちこち回り過ぎ。上尾駅に直線的な路線で早く駅に出られる様にならないか！
- 民生委員は単身高齢者と世帯高齢者の調査を行うためリストがあるが、高齢者と独身のこども世帯の中に問題を抱えている世帯が多いように感じる。しかし、高齢世帯ではないため民生委員には把握できない。また、町内会加入が少なくなっているため問題がある家庭を把握しづらくなっている。
- 私は民生委員としてボランティア活動しています。常に思う事は、一生懸命「見守り活動」を頑張っていますが、あまりにもお手当が少なく、もう少し上げて欲しいです。お金の問題ではありませんが、少しでも喜びが感じられたらと思います。この先、民生委員のなり手がどんどん減少し欠員が多くなっていくと思います。見返りではないですが、喜びやりがいとしてお願いします。
- 団地内にも高齢者が多くなり、救急車も頻繁に来るようになりました。近隣とも連携を取り住み良い街作りを目指したいと思います。
- これから認知症の人が増えていくと思います。参加を受け入れてくれる場を増やし、自宅で過ごす日が少なくなるよう望みます。自治会の役員が担当地域に住んでいる高齢者を把握し、民生委員だけでなく、別に(月一回程度)挨拶に回る事も必要なのではと思います。大変でしたら3か月に1回程度。
- 初めて訪問する 65 歳単身者はまだ仕事をしていて留守。75 歳世帯者はまだ必要無いと断られ、緊急連絡先は個人情報保護法で書かないと言われ、受け入れないです。思うにもう少し年齢を引き上げて良いのではないのでしょうか。

- 高齢者等がどこにも行ける様な乗り合いバス等があると暮し易い。
- 認知症になっても受け入れられるサロン作りを進めて欲しいと思います。
- 市役所、民生委員、地域包括、社協、中心となる団体の協調性が大切だと思います。(個々の主張が私達も含めて激しい)現場で体験したのですが、救急隊は部署によって対応のレベルが違い過ぎます。技術面も大切ですが、人柄がそのまま姿勢に表れているのはプロではないです。民生委員をしていると、地域からも様々依頼されます。全体的に人手不足で町内も御苦労されています。ただ、負担が増す事は、そのまま後継者を探す事が大変になります。
- 1) 民生委員の「協力員制度」を上尾市はなぜとり上げないのが？3年に一度の改選期に、なり手不足で苦労している。埼玉県内でも、市町村で早くから国の指針にそって制度化されている。こんなに高齢者が増えているのに民生委員に負担がかかっている。2)「デマンドタクシー」を一日も早く制度化してほしい。3)「見守り活動」ボランティア活動推進のため町内会に補助金給付すべき。又、経験(体験)交流会を設けて、どの地域でも、とり組めるようにしてほしい。
- まちづくりとは自治会中心に進めていくのでしょうか？自治会に入らない人が増えていく状況では、どうすればいいのでしょうか。高齢者世帯の増加で、とりあえず一番先に市にやってもらいたいことは、ぐるっとくんの本数を増やすことです。ぐるっとくんを頼りに生活しているお年寄りが多いです。よろしくお願いします。
- 民生委員・児童委員のなり手がいない。働いていなければ全然問題はないが、主婦高齢者ともパート等働いている人が多く活動が負担に感じる人が多い。民生委員・児童委員活動が大変負担になるとの認識が一般的にある。行政で更に民生委員・児童委員の宣伝・啓蒙をして欲しい。テレビドラマ、映画など造って欲しい。
- 社会福祉協議会でやっている見守りサービスを元気な高齢者に声かけして、どんどん広めていくといいと思います。
- 若い世代の自治会加入率が低い。デメリットばかり考えてメリットを想像できていない。大規模災害があっても他人事と考えているような気がする。
- 特に考えが思いつきません。
- 単身高齢者、高齢者世帯が年々増加している中、民生委員の負担がふえている。対策として、1.自治会の中に補助委員制度の導入を検討して欲しい。2.ゴミ出し場所が遠くにあり高齢者の人には負担が大きくなっている。自宅前に出せる制度等を検討して欲しいし、すでにあればもっとPRすべき。3.自治会との連携が不足している。高齢を理由に自治会を脱会する人も増えている。自治会員の情報は共有化できても、脱会、未加入者がどの程度いるのかもよくわからない状態になっている。定期的な自治会役員との情報交換が必要。
- おはようございます、こんにちは。挨拶声掛けのある地域は住みやすいのではと思います。
- 地域福祉を理解していない民生委員・児童委員(主任児童委員)が多すぎる。行政側含め各々の立場をしっかりと活用して活動してほしい。
- ぐるっとくんバスが1時間に1本という時間帯をせめて2本通るようにする。地域のこどもは地域で育てるという意識付けを積極的にする。
- 私は、小泉支え合いの会の役員でもあります。ふれあいサロンを開催していますが、いつも参加して下さる方がお休みだと、気にかけてご近所から来ている方に何気なく伺ったりしています。心配な方がいる場合、担当の民生委員に協力をお願いしています。出来ることは限りがありますが、出来ることはやっていきたいと思う毎日です。
- あまり他人に相談する人がいません。関心度が低い。
- 回覧板で情報は流していますが、読む人、読まない人、それぞれです。読む人は情報をGETできますが、読まない人は『知らなかった』という結果になることがあります。紙媒体でお知らせすることは大事ですが、それと併せて耳でも情報をGETできる仕組みができるといいと考えます。あとは、『住みやすいまちづくり』ということであれば、知らない人でも声を掛け合う。知らない人だからこそ声を掛けたことで話せるようになる人がいたり、不審者を感じとったりできると考えます。住んでいる街だからこそ、知らない人には声掛けをしないではなく、知らないから声を掛けるという習慣が大人もこどももできるといい。
- 同居している母は被災したとしたら自分を置いて逃げなさいと言います。避難所である小学校まで歩いて行けないと思っているからです。両膝が悪い私は車の運転が出来ないし、母を乗せるリアカーなど用意していないので、絶対に一緒に逃げられずきつと2人で敷地内から逃げられないでしょう。近所の方も高齢でいざとなった時に力が出て逃げられる人もいるでしょうが、介護をしていると、とても自分だけ逃げられないと思う方はいると思います。両脚に人工関節

が入っている私本人は床に寝てしまうと起き上がることがとても難しくベッドがないと寝起きできません。避難所へ行っても休めず迷惑をかけるので行かないと思います。

- コロナ禍以来、人との接触の機会が減っていて、人間関係が希薄になっていると思う。民生委員としてイベントを行なっても人があまり集まらなかったりするので、とにかく家に引きこもらず外に出てきて欲しいと思う。
- 安心して生活できているので要望はありません。
- はずれの地域なのでともかく交通網が少ない。ぐるっとくも 1 時間か 2 時間に 1 本なので病院など行くときも高齢者がタクシーを利用せざるを得ない。
- 市役所ではなく警察ですが、防犯パトロールの強化。自動車運転もですが自転車・歩行者の交通ルール、マナーの周知徹底をお願いしたいと思います。
- 地域の民生委員・児童委員の活動を通して、どの場面にも対応できる人材が、その地域を担当しているとは限らないので、やはり地域の交流が大事かと思います。お隣の方がどういう方なのか、何かの時には、気付ける関係なのか、いい意味で互いの興味を持つ事が大事である事を、地域でもっと知って頂いて、助けを求められる環境作りができて、尚且つ、市や市の機関の援助を求めやすくする為に、携わる人数の増加をどうしたらできるかを検討していただきたいと思いました。
- 健康で若い世代の人は、仕事をして収入を得て、生活をしていくことができると思います。高齢者はそうはいきません。高齢者に優しい街でいてほしいです。父は 91 歳で亡くなりました。亡くなる 1 ヶ月前まで元気で、介護認定も受けていませんでした。元気なお年寄りにも、何か補償があったらいいと思います。父は足が悪かったので、路駐 OK の認定証が欲しかったです。
- 困っている事、支援してもらいたい事などの相談先が分からない方が多い。訪問して、話を聞いて解る事が多い。周知されると良いと思います。
- 個人的な情報を知りたい時、市に問い合わせても、いつも個人情報なので教えられないと。訪問しても中々逢えず、問合せたとき、介護認定の結果は教えて貰えない。介護認定受けたいと相談が有っても本人でないと民生委員からでは受けられない。
- 何をするのに、自治会長の福祉に対する理解、やる気が必要。出来ないではなく、出来るようにするためにはどうしたらいいかを考えるべき。(自治会長に言いたい) 自治会長への啓蒙が必要。
- 自由に気軽に相談や参加ができる環境をいかにしたらできるか。できたとしても維持をするのが大変。サポートする人自身が高齢者で多数。若い人がサポートに参加できる仕組みと環境作りに期待しています。
- 行政・社協・包括・民生委員・児童委員の活動がばらばらになっているような気がします。もっと情報を共有して活動したほうがよいと思います。
- 自分が住んでる隣近所と積極的に関わろうとするように一人一人の意識を育てたい。
- 高齢者の方々や障害のある方々車に乗れない方々の近所に買い物できるお店が遠い場合などの交通手段を考えて欲しい。
- 民生委員のなり手も少なく、ボランティアで賄うのにも、過渡期にきていると思われます。個人情報の問題も有りますが、見守りカメラ等を利用する(本人の了承あり)時期に来ているように考えます。私達が出向き、顔を合わせてお話しするのも大切ですが、毎日行けるわけではなく、孤独死、孤立死はなかなか防げ無いと思います。
- ウォーキングしている人が多いように見受けます。それを何かに繋げられないか。
- 地域活性化のリーダー的人材の育成が必要かな? 活発な地域活動は地区会長の声掛け、気配りによって大きな格差がある。地区役員をサポートし、共に地域交流が増える事を願う。

第4次上尾市地域福祉計画及び
第7次上尾市地域福祉活動計画策定のための
アンケート調査報告書

令和8年5月

上尾市役所 健康福祉部 福祉総務課
電 話：048-775-5118（直通）
